



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

### 平成 22 年 8 月 5 日(木) のしろまち灯り・夏開催 編

のしろ白神ネットワークの最大イベントであるまち灯りを今年は役七夕前日の 8 月 5 日に開催しました。開催場所は昨年のリベンジをかけ、国道 7 号「ホテルエイト」隣りで実施。時間は午後 4 時から 9 時まで。今年は、猛暑が続き、この日も茹だるような暑さの中での開催となりました。

開催は 8 月ですが、準備は 6 月の嫁見まつり直後から開始。周辺店舗への周知と協力願い、いつもエコバスでお世話になっている第一観光さんとの打ち合わせとバスの運行経路の決定など、2ヶ月に及ぶ段取りはなかなか大変なものです。特に今年は、能代市活力推進課の異動で、今まで助けて頂いていた小林さんから進藤さんに担当者が変わり、チラシ作りや広報掲載、エコバス運行、許可申請等大変なご難儀をおかけしました。能代河川国道事務所も佐藤さんから川口さんへと担当者が変わられ、皆さん慣れない仕事にさぞお疲れになったことと思います。

そんな中でも、今回は道の駅等のパネル展示も実施。より多くの方々への周知が実現しました。

私たちのまち灯りはその場限りの楽しみだけではなく、環境教育や木育を視野に入れた大変意味のあるイベントです。その一つに廃食用油のろうそく作りがあり、毎回多くの幼稚園児、小学生に参加してもらい、それによってスギ灯りの設置が可能になります。これも子ども館の寺内館長さんや職員の皆さん、教育事務所の協力なしには実現せず、民間の我々だけではなく、行政機関や事務局の大きな連携力によってなり立っています。

でも、この素晴らしい組織をいっただれだけの人が理解しているのだろうかという疑問に思うことがあります。特にネットワーク参加団体の皆さん！私たちって素晴らしいメンバーと贅沢で恵まれた環境の中でまちづくりをしていることをお分かりでしょうか？確かに、それぞれの団体が自分たちの活動をしている中でイベントは大変なこともあります、年々衰退して行くこの地域の中で、とても大きな役割を担う「まちづくり」を実践しているのではないかと思います。

7 月 24 日の子ども館での廃食用油によるろうそくづくり。数日前の 21 日にすみれ会では、当日子ども達に持たせるお土産の「香りと色つき」リサイクルろうそく作り。いつものように、100 円ショップでろうそく作りのケーキカップを買い占め準備



市民活力推進課・進藤さんの力作。両面カラーのイベントチラシをつくって下さいました。



廃食用油のろうそくづくりに来てくれる子ども達のお土産用、黒松の精油入りろうそく。



7 月 21 日には旧二小で黒松友の会の方々が田楽のチェックと手入れをされました。



マドレーヌ作りを終えてようやく休憩。話題は当日に向けての準備のことばかりです。





## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

完了。24 日当日、とても楽しく分かりやすくお話をして下さる寺内先生のお話し聞いたあと、午前中は廃食油のろうそくとリサイクルろうそくを作ってもらい、子ども達は大喜び。午後からはろうそくづくりをしてから、木材高度加工研究所の佐々木靖先生から BDF ができるまでの実験をしてもらい、子どもたちは興味津々。「わー色が変わった！」と真剣な眼差しで実験をしていました。この日、新築校舎の引っ越し等で参加出来なかった二ツ井小学校の子ども達は、後日(30 日)バスで子ども館に来てろうそく作りをしてくれました。

8 月 4 日は働く婦人の家でお菓子づくり、渡辺先生もお手伝いに来て下さり、美味しいマドレーヌが焼け、みんなでVサイン。やった～！！

5 日当日は朝からプランターをほっとステーションに移動。いよいよ準備開始です。猛暑日の機材運搬は厳しいものがありました。手這坂の大高会長や黒松友の会の皆さん、常盤ときめき隊、能代市、能代河川国道事務所の皆さんが手伝って下さり、地元上町を代表して本庄組さん親子に助けをいただき、無事現地に到着。が、ここからの設置がまたまた大変で、スタッフ不足を痛感しました。

屋台コーナーには、くじら鍋・焼きそば・焼鳥・うり棒・かき氷・マドレーヌ・野菜の直売。かき氷にみんな救われました！ ウッディ動物園や木工教室は子ども達に大人気。昨年の上町での実施時とは比べものにならない子どもの数に若い世帯の多さを感じ、高齢化する中心市街地との比較もできたように思います。

また、今回は北部市民活動サポートセンターで作成された県北地区の夏休み活動スケジュール表にまち灯りを掲載して戴いたこともあり、大館方面からの問い合わせも多く、大変嬉しいできごとでした。黒松の香りがする足湯も大人気で、ひと時のリラックスを体感していただきました。日も暮れ、7 時からのスギ灯り点火、役七夕親丁の柳町披露、べらぼう太鼓は圧巻で多くの人々を魅了しました。

こうして、事故もなく大盛況のうちに終了したまち灯りですが、回を重ねるごとに協力者が増え、今年は能代北高と能代工業の高校生3人が参加。本当に嬉しいことですし、有難い限りです。清助町の金谷さんにも支援をいただきました。

いつもエコバスのガイド役を務めて下さるコンポスト見直し隊の皆さん、参加協力をして下さる能代市婦人会連合会の皆さんには心より感謝申し上げます。尊い力お貸しいただいた全ての方に、お礼を申し上げます。有難うございました。そしてこれからも、応援して下さいね。

文：能登 祐子



ガランとしていた広い会場に次々と荷物を積んだトラックや軽トラが到着し、ところ狭しとどんどん木製品がおろされていきます。



おなじみとなったウッドチップ舗装道の模型や屋根つきスギ塀、傘スギ縁台が並べられ、だんだんと木の香るイベント空間ができあがっていきます。





## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

いつもは上町ほっとステーションを会場としていましたが、今回は、国道 7 号線のホテルエイト隣で行われました。新しい場所と例年のない猛暑でとても心配でしたが、たくさんの人たちに参加していただき、大変嬉しく思いました。

屋台コーナーで私たちときめき隊は、焼き鳥となすカヤギをだしました。焼き鳥屋さんには、いつものように行列ができて大繁盛でした。私たち女性軍は、昔ながらのなすカヤギを知ってもらいたいと試みましたが、あの暑さには適いませんでした。それでも若い人達や小さな子供たちが、「これ、なあに？」と不思議な顔をして興味をもってくれたので、売れ行きはいまいちでも、無駄ではなかったと思います。

何より嬉しかったのは、今回はメンバーがほぼ全員参加でき、イベントを楽しむことができたことです。男性軍には申し訳なかったですが・・・。

幼い頃に返ったように、かき氷や焼きそばを食べながら、初めて目の前で見た「べらぼう太鼓」の力強い演奏に興奮しました。参加できたことに感謝しています。残念だったのは、エコバスに乗れなかったこと・・・。また、今度の楽しみにしたいと思います。

最後になりましたが、今回のイベントにあたり、いろんな準備を下された方々、有り難うございました。

文：山崎 明子

『まち灯り』はいつも、スギ灯り用の廃食油ローソク作りで始まります。今回もまた、能代市こども館の協力を得て、子どもたちと 2 日間、3 回にわたって作業が行われました。

幼稚園児、小学生、保護者など 100 名以上の参加があり、順調にローソクが完成しました。さらに今年は、ニツ井小学校からも約 20 名ほどの参加者があり、ローソク作りを楽しみました。参加した子どもさんたちには、予めすみれ会で作っておいたかわいらしい色ローソクがプレゼントされました。

今回のローソク作りでは、ローソクのロウが溶けても倒れないで「燃え続ける芯」が、上町自治会の男性によって考案されました！ 予測どおり今回のローソクは当日とてもいい感じで最後まで灯りをともしました。感謝！！次回からスギ灯りの芯はこれを使えば万全です。

当日のメニューは焼きそば、かき氷、すみれカップケーキ、生ビールでした。その他に手作りの小物などを販売しました。商店の忙しい夏祭期間中の開催とあって、実働できる会員



この日の暑さは尋常ではなく、お屋に測って見たら信じられない表示が！！そんな中、ウェーブさんや能代河川国道事務所・市役所の男性の方々は汗だくになりながらも大活躍。気分が悪くなった方も 1 名ありましたが大事に至らず何とかウッドデッキも完成。周囲も花々で飾りました。



作るのは暑くて大変ながらも大人気の焼きそば。かき氷は飛ぶように売れ、手伝ってくれた高校生も大忙し。



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

が少ないのがとても不安でしたが、ケーキ作りや焼きソバの下準備など、会員以外の多くの方々に支えられての作業となりました。

この日はカンカン照りの真夏日で、会場設営や準備も大変な作業でした。それでも5時頃から人出がぐんと多くなり、スギ灯りが点火される頃には、ウッドデッキやベンチでくつろぐ人、田楽やスギ灯りを見てまわる人、木工動物園で遊ぶ人、焼き鳥のお店に並ぶ人など大層な賑わいとなりました。

それにつれて、すみれ会の屋台の販売や焼きソバ作りも大忙しに。ことに、かき氷の前には行列ができる大盛況で、4人のスタッフのガンバリがみごとでした。

また、焼きソバ作りのコーナーは暑さと熱さとの戦いで、焼く人、助手をする人、パック詰めをする人は、ただならぬ気迫を発散させながらも、とにかく必死！よく踏ん張ってやりきりました。猛暑の中でのあの体験は「もうしたくないね」と、今でも思い出してすみれ会メンバーで大笑いしています。難儀なことでも後になって笑えるのは、いい思い出の宝物になるのでしょう。

能代市連合婦人会の方々をはじめ、多くの高校生ボランティア・一般ボランティアのみなさんには本当に感謝です。

文：相澤 レイ子

能代のまちが熱気と活気を帯びてくる七夕ウイークの8月5日の夕方から、恒例になりつつある、まち灯りのイベントが開催されました。

私たち「あばんしえ」は今回の参加に向けて何か“グッズ”を販売してみようと思い立ち、トートバッグ・エコバッグ・紙袋の3種類を制作することにしました。制作といっても大量に作れるわけでもなく、印刷をお願いして本格的に商品とするにはまだまだ遠い話。そこで、みんなで考えたのがアイロンを使ったシールでの商品化！でした。素材や材料探しも大変で、インターネットのありがたさを今さらながらに実感したのも収穫でした。

制作にはいるとさらに大変で、できあがったシールをちゃんと貼ることに四苦八苦、アイロンをかけるのに四苦八苦と、初めてのことにとまどいながら、何とか商品にできあがったのが当初考えていた数の半分。なんと、念入りにアイロンをかけたことによってシール部分が焦げて！しまったり、シールをちゃんと貼るのが意外と難しかったりと、予想外のアクシデント発生。商売をするということは、なんと大変なことなのだとあらためて思ったあばんしえメンバーでありました。



環境企画課・石井さん作成のエコバスケット。何度でも乗り降り可能です。今回もコンポスト見直し隊の添乗と乗車案内のご協力をいただきました。



(株)ウェーブの高田さん、大谷さんは金勇の写真集販売をしながら、ウッディさんの木製小動物販売をお手伝い(上)。中身が変わっても今年も大人に子どもに大人気のスグッチ。猛暑の中、大変でした！



動物から巨大昆虫まで展示したウッディ動物園は大人気。谷藤さんの木工教室も大忙しでした。



ときめき隊の焼き鳥やふりふりうどんにも多くのお客さんが集まりました。



マップやバッグなどが並ぶあばんしえショップ。





### こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

さて、販売となるともっと大変で、テーブルクロスは何とか用意できたものの、参加されている皆さんはもう達人のごとく看板設置や呼び込みに余念がなく、会場を回りながらあれこれと次回へのアイデアをいただきました。実績〇〇・・・課題ですね。

会場は、だんだんと手慣れてきているスタッフさん、リーダーさん、たくさんの方々の熱い想いが伝わってきてとても良いイベントになってきていると感じました。暑い暑い能代の夏でしたが、その中でもたくさんの笑顔があり、ゆらゆらと揺れる灯りのなかで皆さんの仲間に入れていただいたことは貴重な体験となりました。次回は、もっと楽しみです！

たくさんの感謝を込めまして感想といたします。皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

文：ぐるーぷあばんしえ 芳賀 ひとみ

#### ■参加団体と活動内容 ○印はネットワークメンバー

○上町すみれ会	ろうそくづくり・マドレーヌ等販売
○NPO 法人常盤ときめき隊	焼き鳥・野菜等販売
○能代バイパス黒松友の会	ろうそくづくり、田楽・べらぼう展覧
能代市連合婦人会	会場支援等
ぐるーぷあばんしえ	マップ・グッズ販売
コンポスト見直し隊	エコバス案内
社)能代青年会議所	会場設営
中央商店会	すみれ会支援
べらぼう太鼓	太鼓演奏・黒松友の会支援
柳町	太鼓演奏・黒松友の会支援
北部市民活動サポートセンター	広報

#### ■協力企業

株式会社北羽新報社	後援
株式会社ウッディ山内	木工教室実施、パネル・デッキ製作
ホテルエイト	会場無償提供
幸和リース(株)	ライト・発電機提供
第一観光バス(株)	エコバス運行
本庄組	資機材運搬
(株)ウェーブ	ポスター制作・会場設営
いとく	駐車場無償提供
秋田銀行	駐車場無償提供
道の駅 十文字・ニツ井	広報
道の駅 鷹巣大太鼓の館	広報
NEXCO 東日本東北支社秋田管理事務所	広報

#### ■公的機関

○能代市 環境企画課・市民活力推進課 生涯学習課・子ども館 教育事務所	関係者との連絡調整等 子ども館にてろうそく作り 広報
○能代河川国道事務所・能代国道維持出張所	イベント支援
○秋田県山本地域振興曲	広報
○秋田県立大学木材高度加工研究所	全体調整、足湯製作等



ネットワーク OB の穴山さん・簾内さん・平野さんが仕事帰りに立ち寄ってください、べらぼう太鼓のライティングなどをお手伝い下さいました。嬉しいですね。



日が翳って涼しくなると、一段と多くの人が太鼓の演奏を聞こうと集まってきました。



薄暮の中、黒松友の会の方々によってスギ灯りと田楽のろうそくに火が灯されると沿道の風景は一段と能代の夏祭りにふさわしいものとなりました。